(1)　日刊（除月曜）　昭和21年6月1日（第三種郵便物認可）　昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第238號　いわき民報　夕刊　昭和26年4月24日（火曜日）第1510號

いわき民報
發行所 平市田町48 ☎381 176 1222
社 いわき民報
印刷兼發行人 編集兼 田原登

ミシン
平市南町電〇六九
草野ミシン商會

投票場は行列 平市の投票場 雨も上つて出足良好

二十日間の選擧運動に一切の終止符を打つて今廿三日午前七時から平市では市長並に市會議員の審判を下す投票が遂に開始された、あいにく朝方に小雨が降り出し有權者の出足があやぶまれたが豫想外に市内八カ所の投票場は傘や洋傘で雜踏列をなす盛況振りで午前十一時現在の四割強に比べてやや低調、なお第一投票所の投票一番乘りは仲町二山崎すゑさん、南町七〇小川明雄さんだった

選擧地視察

脇選擧管理委員和地武雄氏は脇地方課員と共に午前中平市の選擧投票場を視察、午後は飯野、高久村、夏井村、大浦村、四倉町、湯本町、内郷町を視察、双葉方面に向つた

一時現在の投票率は有權者二万二千九百一十二名に對し八千五百四十名の三十七、二五%と參院選擧當時午前中二十%の出足に較べるとズーット成績が良好、十時過ぎには雨も上がりこの分でゆけば今回の棄權率は五分程度にとどまるものと市選擧管委では見ている

當日の有權者數 二万二千九百一十二名で男四百三十三名、女七百二十二名のうち不在投票數（八十二名、午前七時から一時間内の出足は一割六分、午前十時までにはこれが二割六分弱と伸び女性側の出足は午前十一時現在で四割二分の投票率

各地とも行列 春雨でも出足良好

【小名濱町】朝からの小雨がたたつてか投票時間前からならぶ投票者も僅かで降り續いた小雨も止んだ十時ころから家事の寸暇を利用して投票に出掛けて來た主婦連がドット押しかけ受付吏員を轉手古舞させた、晝休みを利用する官公吏や會社員などの出足が豫想されるが漁船はこの日も休まず出漁中だが船員はすでに不在投票ずみで心配された棄權は僅少の見込み町の棄權率は四、五分前後ではないかと選管委ではみているなお當落の決定は今晩十時半ころの豫定、各投票所の正午現在の投票率は次の通り

【第一選擧區】▽三千六百六十八名、三割二分▽第一投票所（第一小）千九百六十四名、三割三分▽第二投票所（水産高）五百四十一名、一割三分▽第三投票所（第二小）千百六十三名、二割八分【第二選擧區】▽第三小 九百二十九名 四割四分

【植田町】朝から小雨にもかかわらず出足は案外に良く今日の投票率は四千九百六十の有權者に對し九十九%に達する見込みだ正午までの第一投票所は千四百七十八票であった、投票一番乘りは根本秀太郎さん（六二）であった

【勿來町】有權者六千六百四十一名が小雨の影響もなく順調に投票を行つており十一時現在で四割一分の投票率

【湯本町】日本一の激戰地だと云われている同町は有權者一万三千三百名で出足はすこぶる順調に進んで十一時半現在で四割の投票率があつたと係員を感心させている

【内郷町】有權者は一万八千二百名で午前十一時現在で既に半數を越え出足は非常に良好、五カ所の投票所に列をつくつて投票を濟ませるまでには三十分はたつぷりかかると云う盛況ぶりを見せた

【四倉町】五千五百七十名の有權者のうち勤め人は午前六時半ころから列を作つて投票をするなど出足は極めて良く正午現在で五割という好成績であった

女が斷然多い 各町村の確定有權者數

石城地方事務所管内町村二一、六二一一、八一一）▽入遠野二一、六二五（一、二六二一一、三六三）▽川部三、〇一六（一、四八六一…、五三〇）▽田人三、九二五（一、九九一一一、九三五）▽夏井一、六九九（八〇〇一八九九）▽高久一、五九九（七三九一八〇〇）▽豐間三、一三八（一、四八八一一、六五〇）▽江名五、一六二（二、五三二四（六三七一六八七）▽植田四、九六〇（二、三三八一二、六二二）▽山田三、〇七五（一、五二二一…、五六七）▽錦四、八〇九（二、三六七一二、四四二）▽勿來八、五六四（四、二四二四、四二二）▽上遠野三、四二二（一、八三六）▽小名濱二、三、五六四（六、六八六一六、八七八）▽磐崎五、七四九（二、八六〇一二、八八九）▽湯本一四、二四三（七、〇三一七、〇四〇）▽内郷一八、八〇八（九、二六二一九、五四六〇）▽好間一八、六八六）▽赤井五、六九三（二、七八五一二、九〇四）▽永戸笈瀧二、六六五（一、三九一一）▽澤渡上下小川二、八一五（一、三四三一一、四七二）▽川前一九七五 九七〇一一、〇〇五

陽春の花ちりて再びひらく
名畫の祭典
24－25 シーザーとクレオパトラ（總天然色）二十歳前後
（二本立） 入場料 50圓
26－28 情婦マノン
また逢う日まで
（二本立） 入場料 40圓
29－30 吾が心は君に
（原名ダンシングイヤーズ）
入場料 60圓
第二イワキ

民報論壇

一方的取締を排撃す

田原登

選擧を極めた市長並に市會議員選擧は今廿三日終了した、この選擧を通じて最も不愉快なことは選擧取締り當局の取締り方針が嚴正公平を缺き一方的に行われつつあることである、即ちその取締りの鉾先は諸種市長候補派に向けられ同派の六名に對し選擧前日に逮捕状を發した、これは選擧の自由を拘束した公正な選擧をさせないための壓迫と見る外ない、惡質な買收や醜聞等の違反でさえも選擧終了後に檢擧するのが通例であつて福島地方檢察廳もその方針によつてやつているようである、然るにわが平においては斯うした方針に隨わず形式違反である日別訪問を重大なる違反行爲の如く取り扱い逃亡や罪證湮滅のおそれの少しもない市内の歷氣とした人々に對し逮捕状を出したことは故意に選擧の自由を拘せんとした底意があるのではないかと疑うのである

一方鈴木候補の方には却つて買收や贈り物などをした等の違反行爲が澁山あると流布されこうした疑に對し市政革新會から擴發されるらしいが、取締り當局がこのような惡質のものに對しては取締りを緩慢にしているように見受けられる事は甚だ遺憾である、右のような取締り方針は封建性の濃厚であつた大正から昭和の中葉に至る政黨政治華やかな時代において行われた惡質なるものと軌を一にする感を與え、民主々義時代の今日において再び斯うした一方的な取締りは却つて選擧民大衆の反感を一層激發するばかりであつて選擧界を混亂する所以ではないと同時に法の威嚴と民衆の信賴を失墜するような愚を改めねばならぬ

暴力の恐れ 諸橋候補の保護願 市政革新會で平地區署へ

平市政革新會代表山野邊、大和田辯護士らは二十三日午後三時ころ平地區署に佐藤署長を訪れ「市長選擧にからんで暴力行爲が行われるとの噂が飛んでおり非常に危險を感じ良く正午現在で五割という好成績であつた

記者會の申入れ拒む 鈴木候補側

投票の前日の二十二日依然として鐵のカーテンに鎖された平市長候補鈴木辰二郎（七三）氏の病状について其の眞相を一般選擧民に報道するため平記者會では鈴木候補の選擧事務所を通じて同候補との記者團會見を申し入れたがこれに對して事務所側は責任者が在宅を理由に拒絶したので再度午後七時會見を申入れたところ同一理由で拒んだので引續き引延戰術に出て誠意ある回答を避けたが結局午前零時半までネバつて遂に候補者の令息鈴木正雄氏との面接に成功したが鈴木候補が病状については『私は何んとも云えない』との一點張りで何ものも得ることが出來なかった

失戀青年飛込自殺

内郷町常磐炭鑛親和寮採炭夫高橋忠孝（二三）は二十一日午後七時五分ころ同町機地内で常磐線上り貨物列車に飛込自殺、高坂地内某女（二一）との縺れに破れたため

天気予報

二十四日【今晩】北西の風やゝ強く曇りのち晴【明日】北西の風強く晴れ、海上は次第に北西の風強くシケる明日も引續きアレ模様漁船は注意

春の榮養は！
加工の部
特製 ローストハム 百匁 300圓
同 ロビンハム 〃 280圓
同 ハンテイ 〃 270圓
同 バーベスト 〃 250圓
同 ガランチン（チキンハム） 〃 320圓
同 ベーコン 〃 300圓
同 ウインナソーセージ 〃 280圓
同 プレスハム 〃 240圓
同 プレスハム 〃 200圓
同 サンドソーセージ 〃 200圓
注 特製とはマルサが特に皆樣方に贈る味の上に於て御滿足のゆく推奨品です
サラダ五〇円 三〇円 トンカツ コロッケ
日畜 マルサ
平一電一七一
大小喜會場 平二四小林 電七二八 井物

貸間を求む
平市六人町一 堀江方 東間

花粉 優良 新安値 品續々入荷
4月24日より 春もの總ざらえ
優良婦人メリヤス 370円
純毛婦人セーター 1500円
大人アンダーシャツ 330円
混毛婦人セーター 600円
純綿服地 ヤール 125円より
純毛フラノ 〃 950円 〃
毛S混フラノ 〃 900円 〃
閉店6時半（雨天5時半）
藤越

露骨な當選妨害 磐城日報號外 市政革新會で告發す 投票所入口でも配布

平市で發行する磐城日報（責任者後藤幸夫氏）では投票日の二十三日朝『戸別訪問容疑で諸橋候補失格か』と題する選擧妨害の號外を發行、平市内全戸に配布したが平市政革新會では諸橋候補の當選妨害として早速同日朝地檢平支部に山野邊辯護士から告發の手續をとつた

問題の磐城日報號外は選擧當日二十三日の朝七時ころから平市第二投票所に當る第三小學校々庭南西側の道路上（投票場より約二十米）で十四、五才の中學生が投票所への入場者一人々々に配布していた

農村文化

菅波錦平

友人の園藝家がやつて來て僕の作つて居るカボチヤを見るや否や『大分人糞が過ぎて居るね―』と來た。

實は今年のカボチヤは、近年にない上出來と內心大いに得意であつた、葉も虫害を受けずに成長し、莖も割合に丈夫であつた、それに本莖にも子莖にも、ちよい〳〵生り花がついて居るこの調子で行くと一本に四つ宛とれるとして十本植えてあるから四十のカボチヤがとれる、と頗るいい氣持になつて居た矢先へ、その友人からこう高飛車に出られたので、僕はぎよつとした『窒素分が多過ぎるかね？』と恨むような目附で友人を見返した。

『うん、葉が徒らに繁茂して居り、その葉に力が無い、人糞が多い證據だ、灰をやりたまえ、生り花が今に落ちてしまう―』

『生り花が落ちる？この生り花がかい？』

『きつと落ちる、今に見たまえ、黄色くなつてぽたりと落ちてしまうから―だから早くしんを摘んで、側芽を出して新らしい生り花をつけるのだ、そうして灰をやることだ』友人は頻りに灰をやれと言つた、成る程折角ついた生り花は順に落ちて行つた友人の言つた通りの經過を取つたのである。忌々しくて友人にすつかりのろわれた樣な氣持がしたが、どうも仕方が無かつた。

以上は中根榮氏の腐筆の一節である。

二十年三十年いや代々農業を天職としている方々の話ふ人公のように、何んでもかんでも肥料を充分にあたえればそれだけ多く實をむすぶものと思つているようである。また少し進歩した人々は、窒素を何貫加里を何貫何を何貫をあたえれば良いといえばA の畑にもB の畑にもC の田にもその通りにやつて、出來が悪いと何が原因で悪かつたかを反省し研究することなく、ただ天候に責任をなすりつけてあきらめているようである。これでは菜八百姓と變りがないではないか。

農業の專門家たる以上、前記友人のように作物の身体を見ただけで、何にあき何を要求しているかを知り、それを適當にあたえ、かつ手當をしてやるようでなければならないと思う。しかし、何年やつても、今年は何がはずれた等と歎聲をもらしている所を見ると、このことはよいな事ではないらしい。

しかし、隣村柳生には麥の木田さんが居るではないか、木田さんに出來ることが皆さんにできないことはあるまい皆さんが、まねできないとすれば、それは作物に對する愛情と、愛するための研究心が不足しているためであろう。作物を栽培するときただ大きくしよう、多くみのらせようと骨を折つただけでは、決して增産の實が擧るものではない。眞から愛情を注ぎ、いかなるかすかな變化も見逃すことのない細心の注意を拂い見守つてこそ見事な生育ぶりを發揮するものである。それには、自分一人の考えだけでは、如何に注意を拂い何年やつても進歩がない。

多くの同志友人愛妻息子嫁達と共に、多くの研究家、實驗し、實際家の論說を調べ、實驗し、失敗を無駄にすることなく、その原因を研究し合い、それを一年一年とつみ重ねて行つてこそ、初めて作物のいかなる言葉も聞分けることができるようになるのである。

作物は皆さんを笑顏を待つてよろこび迎えるであろう。このようになつてこそ、皆さんの仕事は愛する作物のためかの奉仕と變り、いかなる苦勞も消えうせ、農家に生れたことに無上のよろこびを感じるであろう。自分一家の愛育になる作物を品評會に出品して世人に發表する、これまたなんとたのしみなことではないか、ここから眞の農村文化が生れるのである。在來のように生活するための農業重勞働では、いかに合所を改善し、ラジオをきき小說を讀み映畫をたのしんでも農村文化は向上する所か、かえつて農村は自滅するばかりであろう。

石炭協會存續に決る

中小炭鑛を中心に運營

今まで東部の主要會員だつた常磐、古河好間、大日本勿來の三大炭鑛は今後は賛助會員となるもので、正會員は百一炭鑛（本土も含む）他會員四鑛となる、東部石炭協會はもと石炭統制會として發足、更に石炭鑛業會とかわり昭和廿三年四月東部石炭協會となつたもの

會長大平勳（留新）

六千百万圓 二十五年度の土木事業

平土木監督所管內二十五年度中の事業施行內譯は次の通りで前年度の事業豫算の六千百四万二千七百二十三円に較べ一億五十六万八千八百四十八円で一躍增加していることが判る

【失對事業】―十一カ所―△湯本＝小野田線道路　班堂濟防△內郷＝江田木―綴線道路　高萩道路　白水河川　三友濟砂防　△好間＝好間川、江田木濟防△赤井＝小川―平線道路△小名濱＝上町―神白線道路△平＝新川　豫算四千万円

本事業動員延人員數二十三万五千二百人

【道路補修事】―十一カ所―△國道六號線（磐崎村白鳥地內）小野新町―平線　江名―平線　江名―小名濱線　江田木―綴停車場線　小川―平線　上三阪―平線　上遠野―小名濱線　石川―湯本線　平―小名濱線　本―小名濱線　本事業動員延人員數三万八千名　豫算七百六十万円

東京の大手筋十八社結成による東部石炭協會存廢問題は三月末の會員會議で今後は中小炭鑛中心主義で運營するとともに、職制も從來の三課廿四名から二課十一名（東京事務所も含む）に縮小して存續することとなり、四月下旬の總會で新運營方針の具体案を決定する

第二靜丸無事曳航

久ノ濱町根本清三郎氏（二三三）＝船長白岩周造氏（四五）以下十三名乘組＝は二十二日午前八時四十分ごろ小名濱海上保安部巡視船『うづら』に曳航されて無事小名濱に入港した

同船は二十一日午後三時半頃久ノ濱十八マイル沖合で操業中シャフトを片損、スクリューを海中に落し航行不能となり隣水試無線局へ救助方を依頼してきたもの

トラック轉落

二十一日午後四時半ごろ植田町大字仁井田字龍ノ口地內の龍ノ口橋附近の道路上で植田町字横町土建業太森組のトラック運轉手額谷一郎（二五）＝は運轉を誤まり二間下の川へ轉落乘員の怪我はなかつた車体は中破

少年の家出

仙台市驛前會社員及川英治（四三）さん長男某（一四）＝甲學二年生＝は二十一日正午ごろ家出常磐線上りに無錢乘車して同日午後九時ごろ植田驛に保護された、父親から叱られなくられたのを苦にして家出したという

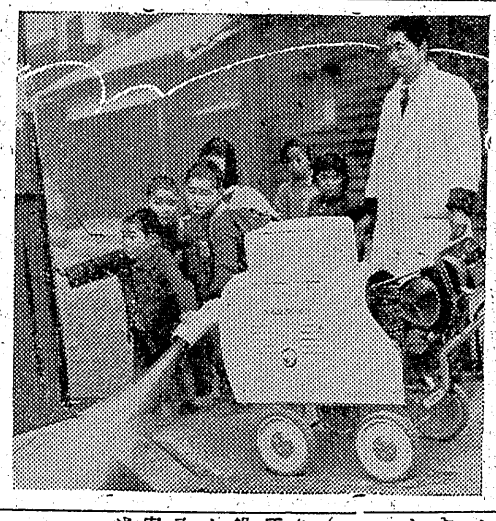
狂犬病豫防 注意事項

平保健所、平市衛生課では狂犬病を豫防する爲犬の所有者に對して次の注意をうながしている。

▽犬の鑑札登錄の勵行（毎年四月一日現在で生後九十一日以上の犬は四月卅日まで）▽狂犬病豫防注射及び注射濟票裝着の嚴守（毎年四月から六月、十月から十二月の間に二回所有犬に受けさせ交付申請、獸醫師の注射濟票を保健所長に提示して濟票を裝着する事）▽狂犬、疑狂犬の隔離（狂犬及び疑狂犬が發生した場合には直ちに所在地の市町村長に屆け出、隔離しなければならない、此の場合人命に危險があり緊急を要する時は殺す事が出來る、命令があつたときは犬に口輪をかけ又はけい留する事）隔離した犬は豫防員の許可がなければ殺してはいけない、狂犬、疑狂犬の死体は狂犬病豫防員に引渡さなければならない）右に違反した場合は五万円以下の罰金に處される

巷の出來事

小名濱町辰巳町漁業高梨和夫（二九）同鹿島五郎吾（五七）同相馬義次（二一）同安齊明（二三）同笹島道雄（二四）の五名は共謀の上十五日夜同港魚市場前に繫留中の同町辰己町漁業坂本清一氏（四三）所有第一成昌丸（三三トン）から空ドラム罐一本（二千七百円相當）を盜み出し同町字ヲ分一古物商竹村富明（二九）へ賣つたことが判り小名濱町署に捕まつた、二十日富榮ら五名は窃盜、竹村は盜品故買の疑いで雫痕逮捕▲湯本町下淺貝九〇採炭補手伊藤貞三（二一）は十六日午後八時半ごろ酔つぱらつて下淺貝地內を通行中の同町水野谷字總の尾一四〇坂田繁さんら五名を理由なく殴々に殴りつけたことが判り十九日湯本町署に捕つた▲十三日夜十時半ごろ永戸村小學校三年生關谷治平（九ツ）君は叔父に連れられ友人と平へ花見に來てトラックで歸る途中、永戸村成澤地內で運轉台のドアが獨りで開いたため轉落頭部を强打、入事不省となり直ちに好間村小田炭鑛病院に收容されたが十五日朝七時半ごろ死亡した▲十八日午後六時ごろ小名濱町神見漁業竹中重三郎さん所有第二重運丸（三四トン）は小名濱沖合二十マイルの地點で操業中マニラロープ約百七十米（十万円相當）を拾得小名濱海上保安部へ屆出た▲平市三丁目土工山野邊昇（五〇）さん方では十八日午後五時半ごろ新品自轉車一台（九千円相當）を盜まれた



小名濱一小 PTA總會

安田會長再選

小名濱町第一小學校PTA總會は二十一日午前九時から同校講堂に開き、役員改選の結果次の三氏が決定した

△會長安田善一（留）△副

小名濱に動力撒粉機 衛生防疫陣を强化す

小名濱町では腦下のトップを切つて〃共立式フォックマシン動力撒粉機〃を購入、病害虫防除及び衛生防疫に萬全

外科

松田病院

小名濱町驛前通り

電・四三四番

〔入院隨意〕

若い人の惱み

◎ニキビ

◎そばかす

◎ふきでもの

純金のぬり藥でこんなに美しく！

使い方の說明は

あこう藥局

平銀座電四四

内科 小兒科

和田醫院

和田浩美

平市白銀町一〇

電一一八七

時計は

誠光堂

確い 正安

修理は迅速丁寧

平市銀座電98

T

ペリシン

外科 皮膚科 産婦人科

前田醫院

植田町本町通

電話二二四番

（入院隨意）

24日より

女學生群

沼田 代々木 山本 加藤 渋路

アメリカ航路

灰田 田崎 氣兒 香川 曉 江川

男女學生ロマン珠玉篇

君と行く

人氣四大輕音樂團出演

アメリカンスタイルのラッキー映畫

平 文化

明二十四日は店員慰勞の爲休業させていただきます

壽百貨店

男女契約社員 年令不問 履歴面談

平市白銀町驛前通り

三菱相互融資 株式會社 平營業所